

意見書は
今まで
改めることの
できなかった
政治のあり方を
ズバリ述べて
ありました

これに
書かれてある
通りだ
政治というものは
こうでなければ
いけない!
これこそ
政治を行う
基本だ!!

村田清風
働きぶりも
立派だが
優れた考えの
持ち主とみた!

彼に
財政改革の
大切な
役目を
任せよう

文政七年(八二四)
清風は手元役として
江戸邸での財政の
仕組方を命ぜられ
ました

改革の
第一歩は
今までの
しきたりを
一掃して
経費の
引き締めだ!!

だが他の役人は
なかなか清風に
協力してくれません

ぜいたくの
どころが
悪いのよ!
江戸邸の奥方に
つかえる女性も
あいかゆらずです

いままら
暮らしを
切りつめると
いわれても
なあ...
やな
こた
さあ
のめ
のめ

あれほどの
切れ者を
放っておけるか

清風は再び
呼び出され
矢倉方頭人に
任命されます

呼びもどせ!!
すぐに

清風が
辞めて
しまったと
!?

文政十年
(八二七)
清風は辞職
してしま
いました

このころが
藩は斉昭公
いんきよのために
鎮海園という
ぜいたくな家と
庭園をつくら
のです

今度こそ
しっかり財政を
建て直さねば!!

矢倉方頭人とは
江戸藩邸の
金の出入れや
工事等に必要
な資材を管理
する役所です

とうとう
藩の金庫は
空になって
しまいました

更に文政十二年
(八二九)
幕府の命令で
世継ぎの崇文(後の
十三代藩主 斉広)の
妻に 將軍家育の
姫君をもらい
盛大な
結婚式、
家の建て替え...
また姫君や
將軍家から
つきとってきた女中
たちの生活費や
交際費に
ばかりな費用が
かかりました



以下次号